

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	越谷市立蒲生保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	山本 ゆり子	定員(利用人数)：	132 (125) 名
所在地：	〒 343-0836 埼玉県越谷市蒲生寿町9-23	TEL	048-986-3942

③評価実施期間

令和 3年 7月13日(契約日)～令和 4年 2月 3日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○食事への工夫や配慮を行い、食育を通じて子どもたちの楽しい体験につなげている
 幼児組では野菜を育てたり、育てた野菜で芋煮会や年長児のカレー作りの実施、季節に合わせた給食献立や見た目にも楽しめる食材や盛り付けを行うなど食育に力を入れており、子どもたちの楽しい体験につなげている。アレルギー食や宗教食、体調不良の子どもに対しては配慮食の提供を行うなど子どもの健康状態に合わせた対応を行っている。

○地域との交流を通じて子どもたちの成長につなげ、子育て拠点として貢献している
 さつき会(地域の高齢の方の団体)との伝承遊びの披露を通じた交流、マジックの観覧での楽しい時間を持っている。遊ぼう会(月1回)や園庭開放では、地域の親子との交流をしたり、幼稚園や保育所などに通っていない親子の交流の場となっており、育児の相談やアドバイス等を行っている。小学校訪問や中学生チャレンジ事業の受け入れ、実習生やボランティアの受け入れ等を積極的に行っている。地域との交流を通して地域に開かれた施設として保育所を知ってもらう機会作りに努めている。現状ではコロナ感染症予防のため行事は中止となっているが、保育所では感染状況を考慮しつつ再開を検討している。

○子どもの特性に配慮し、子どもの権利を尊重して心を育てる保育を心がけている
 保育所では特別支援児の受け入れに柔軟に対応しており、配慮の必要な子どもへも丁寧な保育を心がけている。特別扱いをするだけでなく、在園児とともに育つ環境を提供し、子どもの権利を尊重した保育を展開している。文化や国籍の違いにも配慮し、宗教食への対応や言葉の違いを考慮して保育活動に子どもたちの関心や興味を深める工夫をするなどの取り組みを取り入れている。異年齢での取り組みでは、心を育てる保育を心がけ、年上の子どもは年下の子どもを思いやりサポートし、年下の子どもには憧れを育む活動としている。

◇特にコメントを要する点

○子どもたちの主体的な遊びが展開できるよう、室内環境のさらなる工夫を期待する
 室内はきれいに整理整頓されており、遊びの空間を確保するのに危険が伴う箇所には柵等で囲ってある。遊びに関してはコーナーを設定したりおもちゃ等も自分で選べるようにしているが、おもちゃの数や種類などの工夫・検討も進めてほしい。子どもが好きなおもちゃを自由に出して遊ぶことのできるような収納の工夫やおもちゃの見せ方などを職員で話し合うことによって遊びがさらに充実していくことを期待したい。主体性を持って子どもたちが遊びたくなるようなおもちゃの置き方や、手に取って絵本が見たくなるような絵本の見せ方などさらなる工夫の検討も期待したい。

○ヒヤリハットの意識改革を進め、見える化を通じて子どもの安全への意識をさらに高められたい
 保育所内外のヒヤリハットを一括して記録し、解決策とともに職員間で共有して事故の抑制・防止に活かしている。ヒヤリハットへの意識改革を進め、情報を出しやすく・集めやすくする方法の検討を期待したい。得られた情報を見える化図化して職員間でのさらなる共有・認識化を進められたい。また保護者とも共有することで、子どもたちの安全という大切なものへの意識を高め、保育所に限らず日常生活における子どもの命を守るという意識づけをさらに高められたい。

○子どもたちの活動や様子などの伝え方を工夫し、保護者のさらなる理解促進につなげられたい
 子どもたちの保育活動の様子などは職員が工夫して保護者に伝えており、写真やコメントなどを記載して分かりやすく公表している。保護者からは子どもの様子をもっと伝えてほしいとの要望が多く寄せられており、保育の様子をどのように伝えていくかがポイントとなっている。職員の保育への思いや活動の過程なども併せて伝えることで、より一層保護者からの理解や協力の促進につなげられたい。また保育者の工夫や苦労した配慮事項なども知らせることで、保育活動の基となっている考えという部分への理解促進も図られたい。

種類

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり